



第35回

保健環境科学研究所・原子力環境センター 研究発表会

令和7年

1月21日(火)

13:30~16:00

ハイブリッド開催
(会場・オンライン)

日頃行っている調査研究内容を広く紹介するため、研究発表会を開催します。

会 場：保健環境科学研究所（定員40名）

【Web：Zoomミーティング】

参加費：無料（要事前申込）



発表演題

コロナ後の呼吸器感染症の発生動向

保健環境科学研究所 感染症情報管理スタッフ
企画幹 常松基子

コロナ禍において、感染対策の徹底等によりインフルエンザなどの患者数は減少しました。その後、流行は戻りましたが、それまでとは違う動向がみられるため、小児科定点対象疾患を中心に発生動向について報告します。

島根県内で検出されたバンコマイシン耐性腸球菌の分子疫学解析

保健環境科学研究所 細菌科
主任研究員 川上優太

抗菌薬バンコマイシンに耐性を獲得した腸球菌をVREといえます。2022年7月以降県内の1つの医療機関で当該菌保菌者の集積が確認されました。得られた菌株を用いてPFGEや次世代シーケンサーを活用した遺伝子解析を行ったのでその概要を報告します。

迅速検査キット前処理液からのウイルス遺伝子検出

保健環境科学研究所 ウイルス科
主任研究員 藤澤直輝

医療機関では、様々な迅速検査キットが利用されています。この迅速検査キットで使用した前処理液（検体をキット付属の試薬で処理したもの）を用いて複数のウイルスの検査を実施しましたので報告します。

島根県におけるオキシダントの濃度上昇

保健環境科学研究所 大気環境科
研究員 松岡勇希

光化学オキシダントは全国的に環境基準を達成しておらず、島根県においては外部地域からの移流の影響が大きいと考えられます。そこで今回、松江での光化学オキシダントと気象条件の関係について統計的分析を行った結果について報告します。

宍道湖における水草の繁茂と除去効果の検討

保健環境科学研究所 水環境科
主任研究員 高木智史

宍道湖では2012年以降、湖岸付近の浅い水域において水草が繁茂エリアを拡大しており、2017年には打ち上げられた水草の腐敗により悪臭が発生するなど周辺の生活環境にも影響を及ぼしています。今回、2018年からさまざまな条件で試験的な水草除去を行った結果について報告します。

放射線モニタリングにおけるLPWA通信に関する検討

原子力環境センター 監視情報課
主任研究員 加藤季晋

島根県では、原子力発電所周辺30km圏内に空間線量率を連続測定するモニタリングポストを整備しています。モニタリングポストの通信設備として小型低消費電力のLPWA通信を設置し、放射線モニタリングの通信回線として活用可能が評価したので、その結果を報告します。

参加申込：下記研究所HPから申込ページへ
または右のQRコードよりお申込み下さい

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/pref/chosa/hokanken/research/presentation.html>

申込用QRコード

(しまね電子申請サービスへ)

<お問い合わせ>

島根県保健環境科学研究所

(松江市西浜佐陀町582-1)

Tel: 0852-36-8181 Fax: 0852-36-8171

E-mail: hokanken@pref.shimane.lg.jp

申込締切

令和7年

1月14日

(火)

